

# 大阪経済の情勢

(平成30年10月指標を中心に)

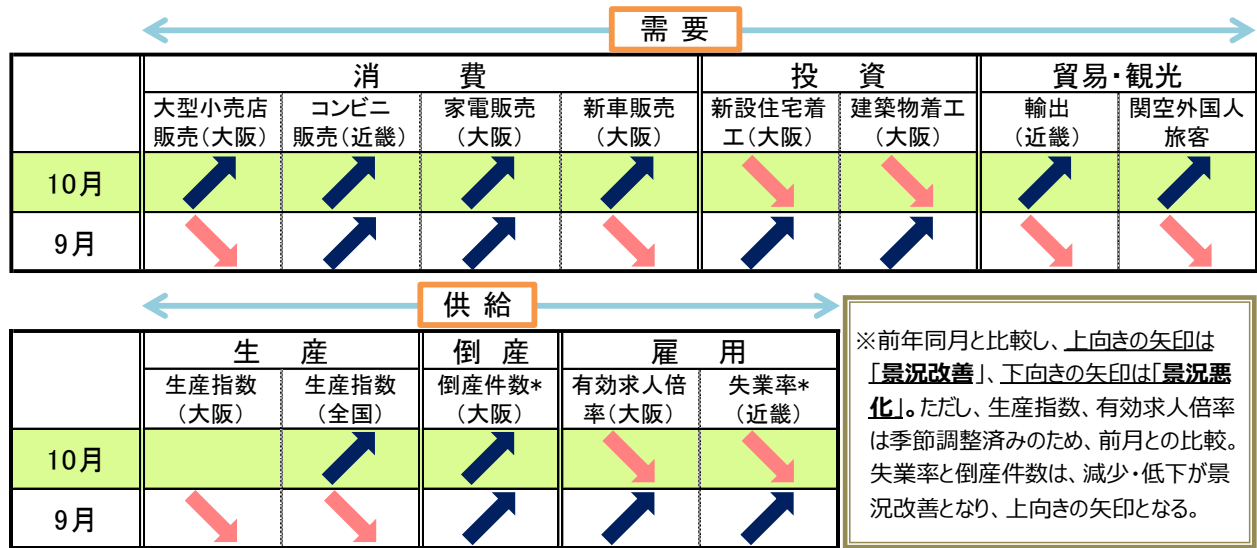
平成30年12月  
大阪府商工労働部  
(大阪産業経済リサーチセンター)

## 「大阪経済は、緩やかに拡大している」

**需要面**では、個人消費は、堅調に推移している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額（近畿）、家電販売額、新車販売台数は増加。家計消費支出（近畿）は増加。投資は、持ち直しの動きがみられる。住宅投資、非居住用建設投資はともに減少。公共投資は減少。輸出は、回復している。台風21号の被災後、関西国際空港の物流機能が順調に復旧し、輸出額は増加。主要地域（国）向けでは、中国を除くすべての地域向けで増加。輸入額も増加。

**供給面**では、生産動向は、弱い動きが続く。大阪府（9月）では、生産、出荷とともに低下。近畿の生産（9月）も低下、全国の生産（10月）は上昇。企業倒産では、件数が9ヶ月連続の改善。雇用は、改善している。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率、新規求人倍率はともに低下。所定外労働時間（9月）は減少。

**先行き**では、国際金融市場の動きや政治・経済リスクといった海外動向、また消費税率引き上げ前の需要変動の影響などについても、今後の注意が必要。



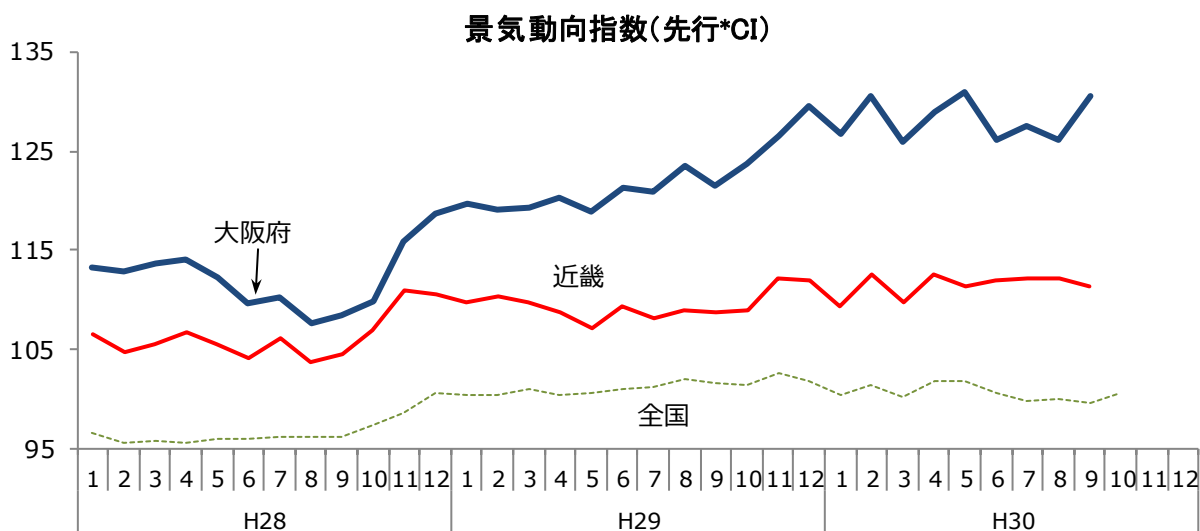
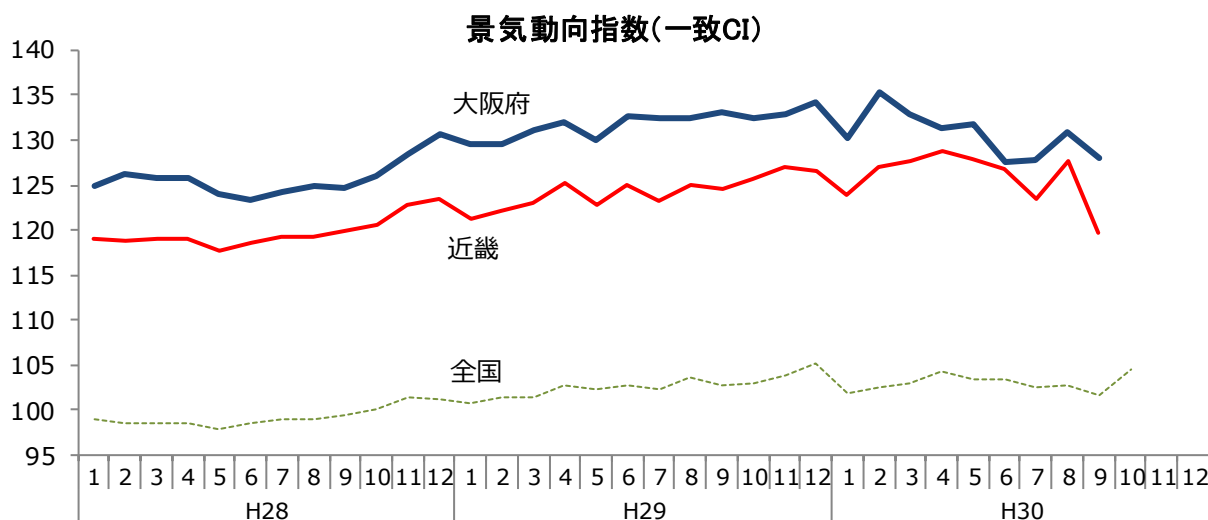
(参考)各機関の総括判断

	先々月 (30年10月公表分) (30年8月指標中心)	先月 (30年11月公表分) (30年9月指標中心)
大阪産業経済リサーチセンター 「大阪経済の情勢」	大阪経済は、一部に自然災害等の影響はみられるが、緩やかな拡大が続いている。	大阪経済は、台風等の影響により、緩やかな拡大が一時的に弱含む。
内閣府 「月例経済報告」	景気は、緩やかに回復している。	景気は、緩やかに回復している。
近畿経済産業局 「近畿経済の動向」	近畿地域の経済は、緩やかに改善している。	近畿地域の経済は、緩やかに改善している。
日本銀行大阪支店 「関西金融経済動向」	関西の景気は、台風21号による経済活動面への影響がみられるものの、緩やかに拡大している。	関西の景気は、緩やかな拡大を続けている。

※以下、Pは速報値を表す

## [総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(9月)では、一致CIは低下、先行CIは上昇。大阪府(一致CI)では、主に「百貨店売場面積当たり販売額」、「大阪税関管内輸入通関額」が低下に寄与。近畿(9月)では、一致CI、先行CIともに低下。全国(10月)では、一致CI、先行CIともに上昇】



(資料) 大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」

※先行CIは、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。全国は平成27年=100。

一致CI

H22=100	30年8月	9月	10月
大阪府	130.9	P 128.1	
近畿	127.6	P 119.6	
全国	102.7	101.6	104.5

先行CI

H22=100	30年8月	9月	10月
大阪府	126.2	P 130.6	
近畿	112.2	P 111.4	
全国	100.0	99.6	100.5

一致CIの個別系列の寄与度※(大阪府、9月速報)

百貨店売場面積当たり販売額	大阪税関管内輸入通関額	製造工業生産指数	生産財出荷指数	人件費比率(製造業)	有効求人倍率	所定外労働時間指数(製造業)
▲1.13	▲1.09	▲0.20	▲0.14	▲0.08	0.18	▲0.36

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

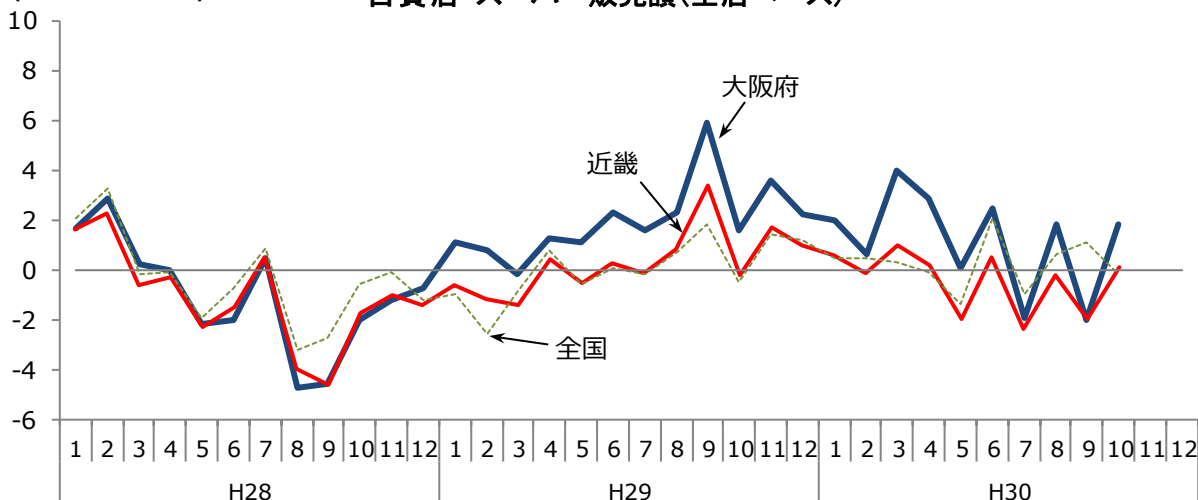
## [需要] 消費

**個人消費は、堅調に推移している：百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額（近畿）、家電販売額、新車販売台数は増加。家計消費支出（近畿）は増加。**

### ○百貨店・スーパー販売額(全店)【2ヶ月ぶりの増加】

(前年同月比、%)

#### 百貨店・スーパー販売額(全店ベース)



(資料) 近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」、経済産業省「商業動態統計」

#### 百貨店・スーパー販売額(全店)

		30年8月	9月	10月
販売額 (億円)	大阪府	1,421	1,367	P 1,501
	前年比 (%)	1.8	▲2.0	P 1.8
前年比 (%)	近畿	▲0.2	▲2.0	P 0.1
	全国	0.6	1.1	P ▲0.2

#### ドラッグストア販売額(全店)

		30年8月	9月	10月
前年比 (%)	大阪府	6.8	0.9	P 9.8
	全国	5.2	4.6	P 6.6

#### ホームセンター販売額(全店)

		30年8月	9月	10月
前年比 (%)	大阪府	2.6	22.3	P 11.4
	全国	▲1.3	3.4	P 5.7

#### 百貨店販売額(全店)

		30年8月	9月	10月
前年比 (%)	大阪府	5.2	▲4.4	P 5.0
	全国	▲0.8	▲3.8	P ▲0.1

#### スーパー販売額(全店)

		30年8月	9月	10月
前年比 (%)	大阪府	▲1.3	0.3	P ▲1.5
	全国	1.2	3.4	P ▲0.2

### ○コンビニエンスストア販売額(全店)【近畿は68ヶ月連続の増加】

		30年8月	9月	10月
販売額(億円)	近畿	1,602	1,545	P 1,496
	大阪府	1.9	5.9	P 1.1
前年比(%)	近畿	1.5	5.7	P 0.5
	全国	2.2	4.5	P 0.0

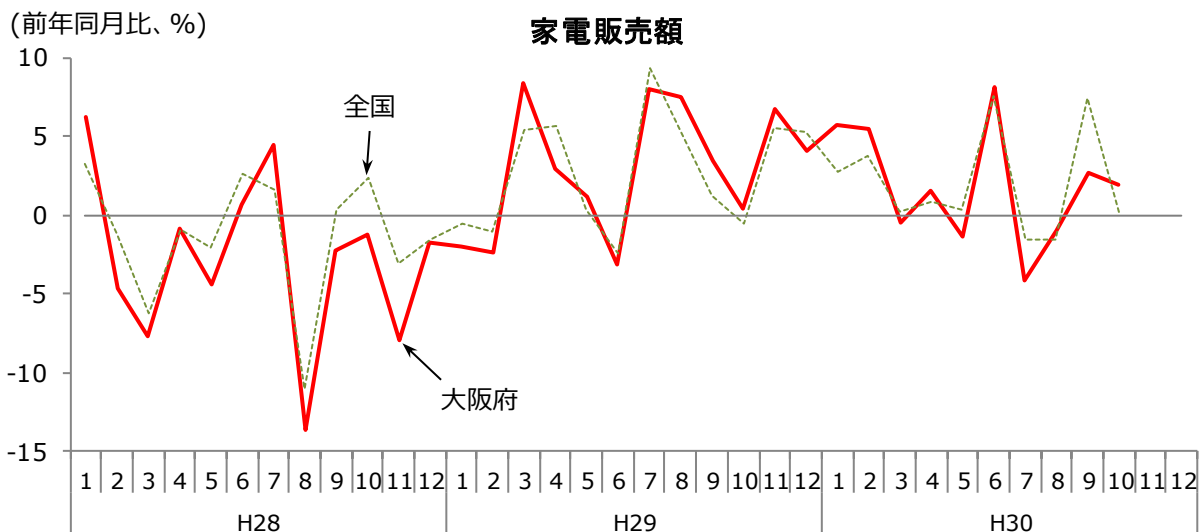
### ○家計消費支出【近畿は2ヶ月ぶりの増加】

		30年8月	9月	10月
円	近畿	276,613	261,081	287,982
前年比 (%)	近畿	2.0	▲0.8	5.3
	全国	4.3	▲0.2	1.4

(資料) 総務省統計局「家計調査」 ※二人以上世帯、一世帯当たりの名目。

## [需要] 消費

### ○家電販売額【前年同月比で2ヶ月連続の増加】

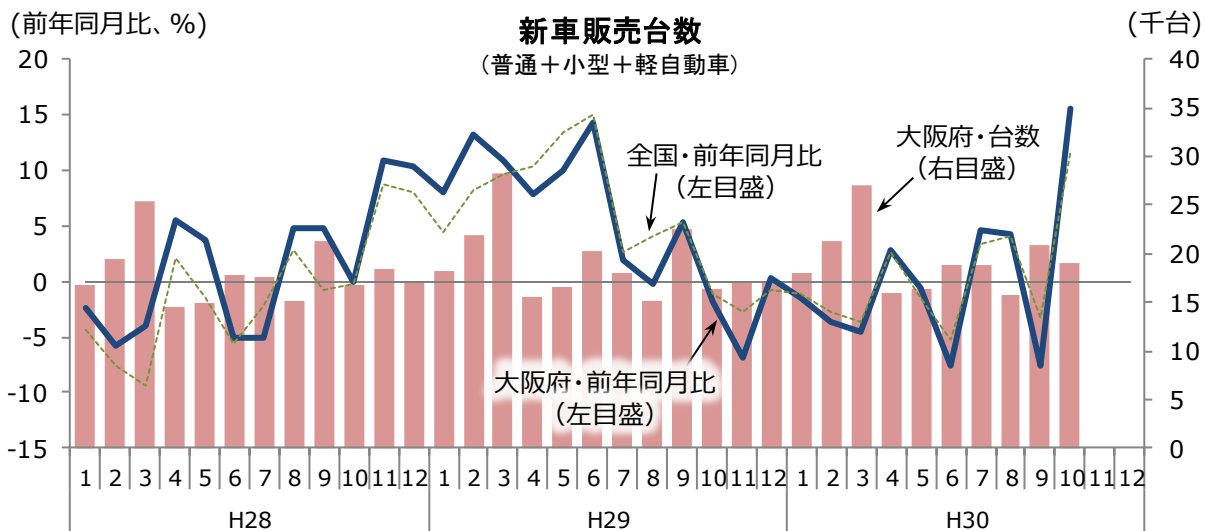


(資料) 経済産業省「商業動態統計」

#### 家電大型専門店販売額(全店、百万円)

		30年8月	9月	10月
販売額	大阪府	34,235	31,564	30,584
前年比 (%)	大阪府	▲1.0	2.7	1.9
	全国	▲1.6	7.4	0.1

### ○新車販売台数【前年同月比で2ヶ月ぶりの増加】



(資料) (一社) 日本自動車販売協会連合会、(一社) 全国軽自動車協会連合会

		30年8月	9月	10月
販売額(台)	大阪府	15,806	20,789	18,987
前年比 (%)	大阪府	4.3	▲7.6	15.6
	全国	4.0	▲3.3	11.6

#### 車種別の増減

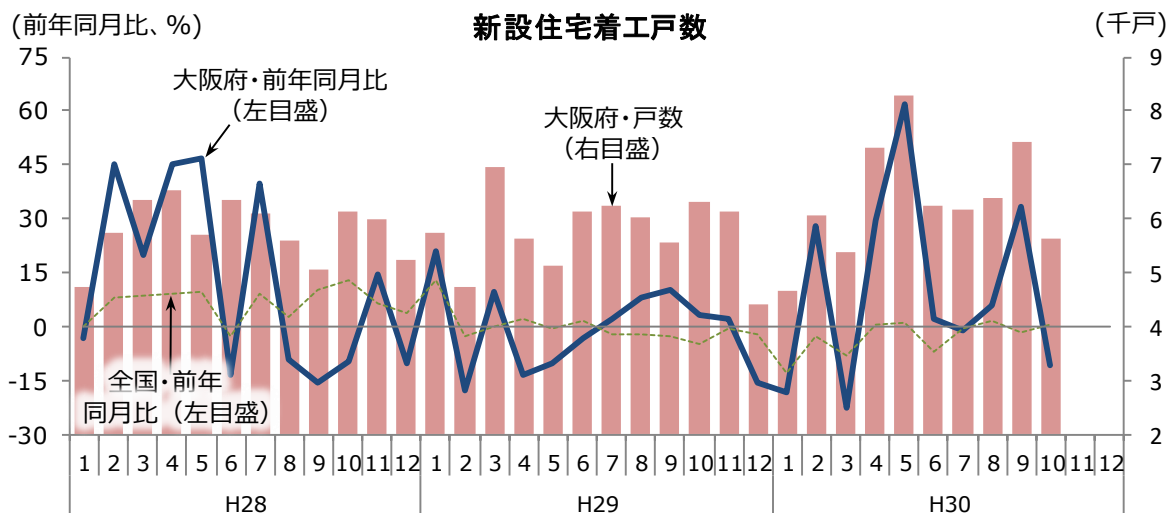
(大阪府、前年同月比(%)、30年10月)

普通車	小型車	軽自動車
21.6	12.0	10.8

## [需要] 投資

投資は、持ち直しの動きがみられる：住宅投資、非居住用建設投資はともに減少。公共投資は減少。

### ○新設住宅着工戸数【前年同月比で3ヶ月ぶりの減少】



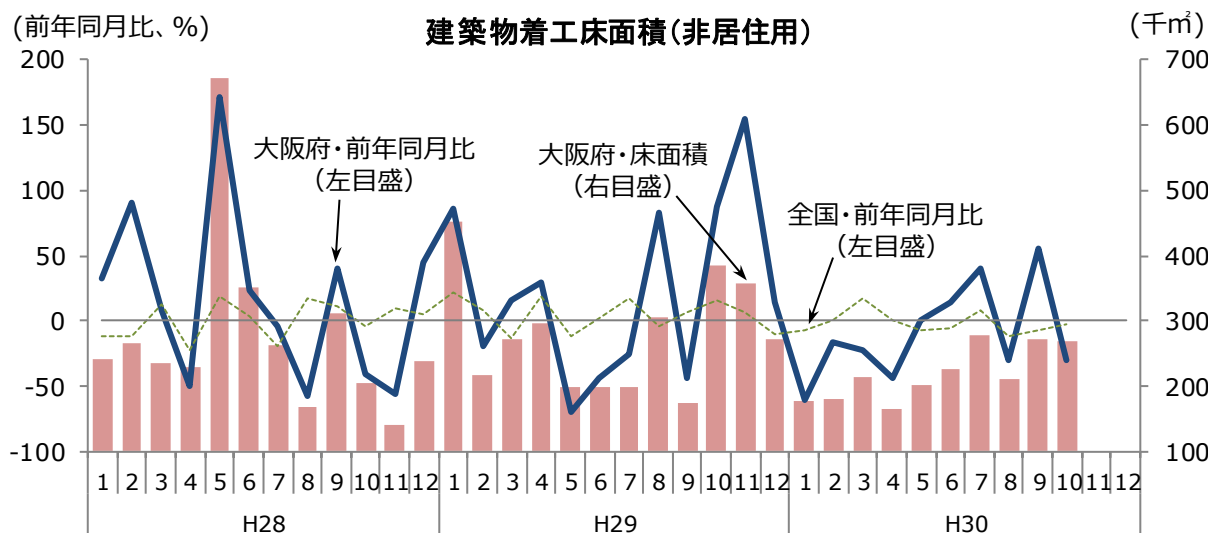
(資料)国土交通省「住宅着工統計」

		30年8月	9月	10月
戸数	大阪府	6,376	7,415	5,633
前年比 (%)	大阪府	5.9	33.5	▲11.0
	全国	1.6	▲1.5	0.3

利用者関係別の増減  
(大阪府、前年同月比(%)、30年10月)

持家	貸家	分譲
8.3	▲25.4	6.7

### ○建築物着工床面積(非居住用)【前年同月比で2ヶ月ぶりの減少】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

		30年8月	9月	10月
千m <sup>2</sup>	大阪府	212	272	268
前年比 (%)	大阪府	▲30.7	55.1	▲30.5
	全国	▲10.9	▲7.3	▲3.2

着工床面積の主な増減

(大阪府、前年同月比の寄与度※(%)、30年10月)

増加	宿泊業・飲食サービス業(14.4)、製造業(1.4)
減少	運輸業(▲31.6)、教育・学習支援業(▲6.5)

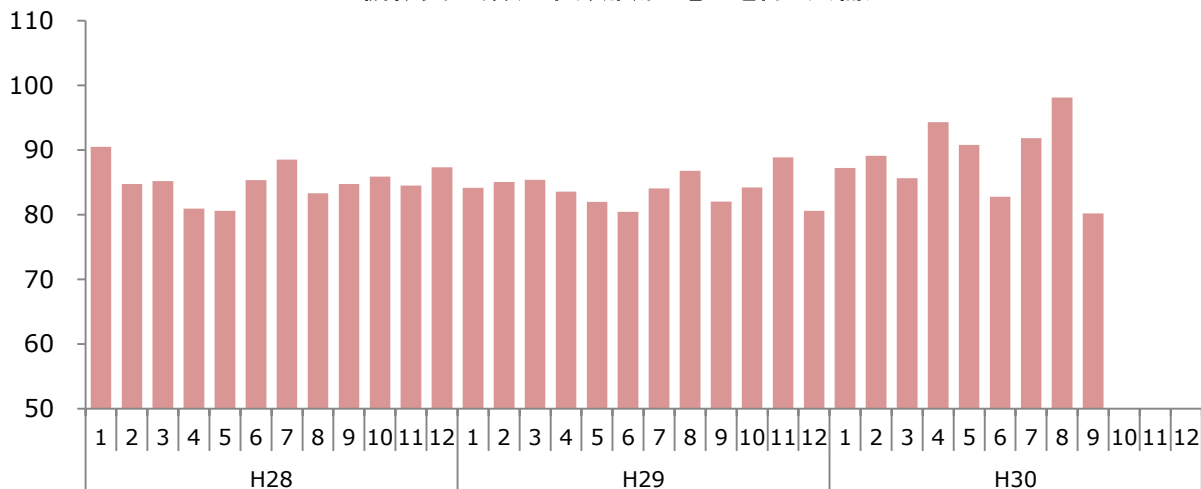
※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

## [需要] 投資

### ○機械受注額【9月(全国)は前月比で3ヶ月ぶりの減少】

(季調値、百億円)

機械受注額(全国、船舶・電力を除く民需)



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

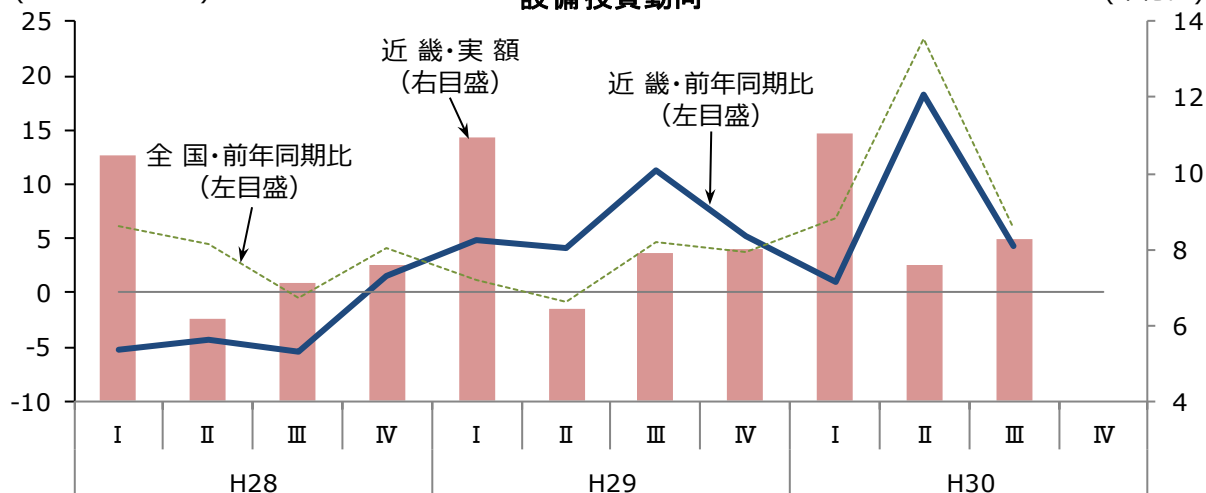
	30年7月	8月	9月
全国(億円)	9,186	9,815	8,022

### ○設備投資動向【7~9月期(近畿)は前年同期比で8期連続の増加。「製造業」は減少、「非製造業」は増加】

(前年同月比、%)

設備投資動向

(千億円)



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		30年1~3月	4~6月	7~9月
億円	近畿	11,067	7,587	8,258
前年同期比 (%)	近畿	0.9	18.2	4.3
	全国	6.8	23.5	6.0

### ○公共工事請負金額【3ヶ月連続の減少】

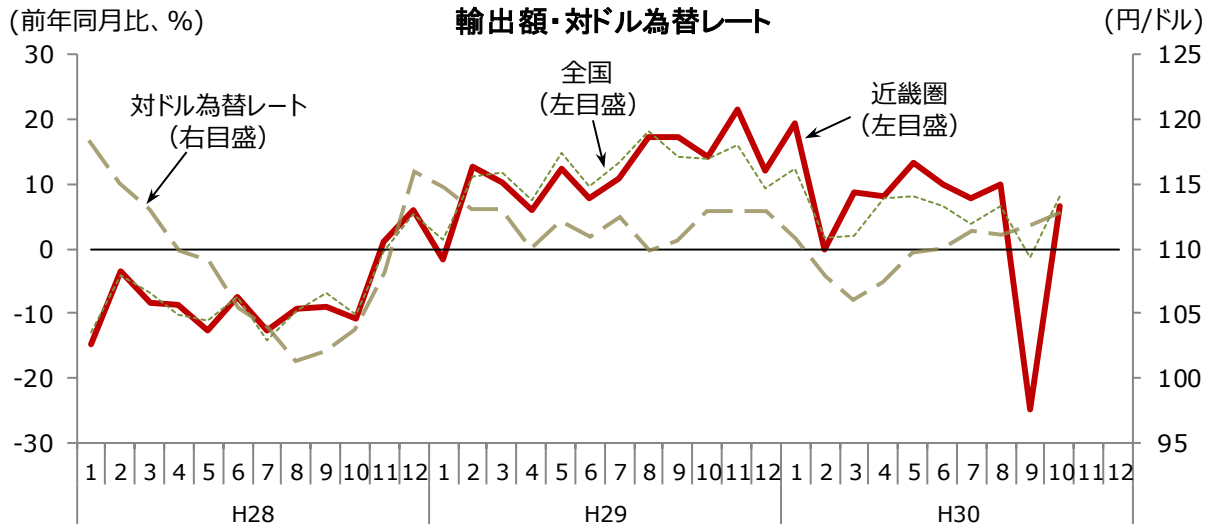
		30年8月	9月	10月
億円	大阪府	282	290	352
前年比 (%)	大阪府	▲7.5	▲26.2	▲33.5
	全国	▲2.2	▲7.6	9.5

(資料)西日本建設業保証(株)、東日本建設業保証(株)、北海道建設業保証(株)

## [需要] 貿易・観光

**輸出は、回復している**：台風21号の被災後、関西国際空港の物流機能が順調に復旧し、輸出額は増加。主要地域（国）向けでは、中国を除くすべての地域向けで増加。輸入額も増加。

○輸出額【2ヶ月ぶりの増加。「原動機」、「建設用・鉱山用機械」などが増加。主要地域（国）向けでは、中国を除くすべての地域向けで増加】



(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

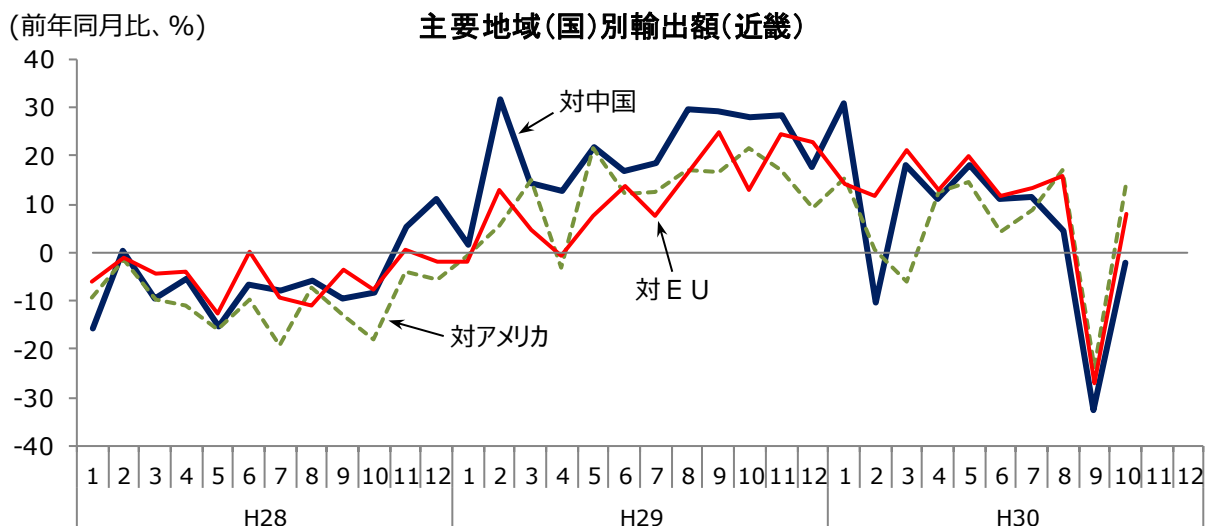
※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		30年8月	9月	10月
輸出額(億円)	近畿	15,193	11,124	P 15,178
前年比 (%)	近畿	9.9	▲25.0	P 6.5
	全国	6.6	▲1.3	8.2
為替レート(円/ドル)		111.06	111.89	112.78

### 品目別の主な増減

(近畿、前年同月からの増減額順、30年10月)

増加	原動機、建設用・鉱山用機械
減少	科学光学機器、半導体等電子部品



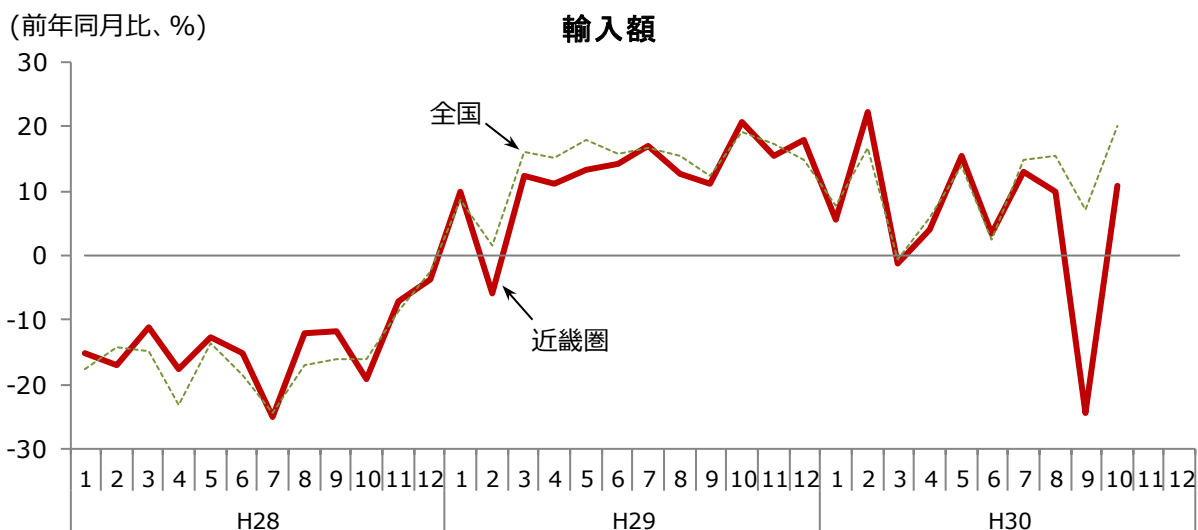
(資料)大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、30年10月

アジア(含む中国)	1.3	2ヶ月ぶりの増加
中国	▲2.3	2ヶ月連続の減少
EU	7.9	2ヶ月ぶりの増加
アメリカ	24.7	2ヶ月ぶりの増加

## [需要] 貿易・観光

○輸入額【2ヶ月ぶりの増加。「天然ガス及び製造ガス」、「衣類及び同附属品」などが増加】



(資料)大阪税関「貿易統計」

		30年8月	9月	10月
輸入額(億円)	近畿	13,409	P 9,318	P 14,019
前年比 (%)	近畿	9.9	P ▲24.4	P 10.8
	全国	15.5	7.1	P 19.9

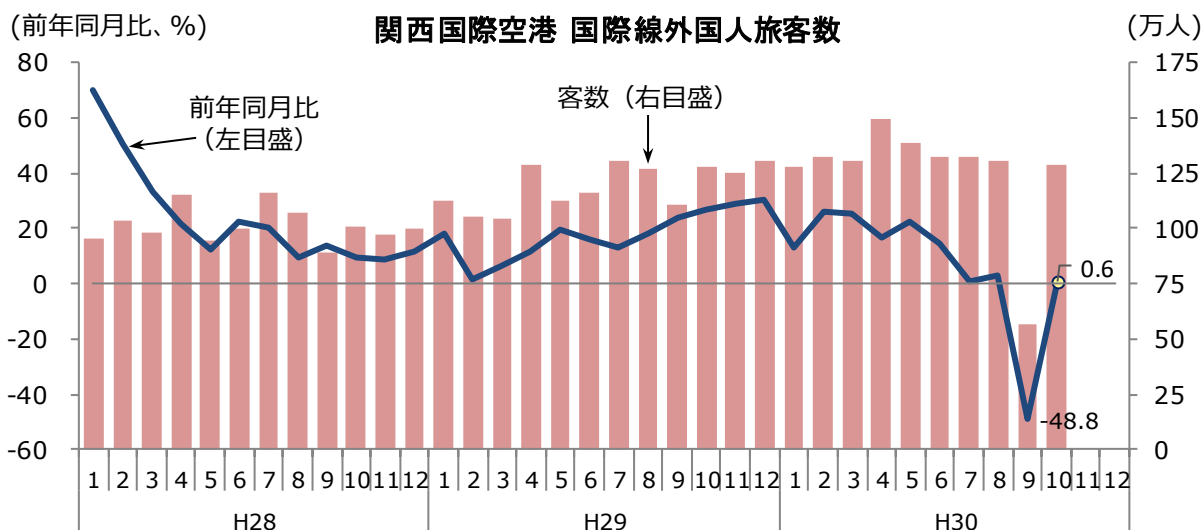
品目別の主な増減  
(近畿、前年同月から増減額順、30年10月)

増加	天然ガス及び製造ガス、衣類及び同附属品
減少	医薬品、たばこ

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%))、30年10月

アジア(含む中国)	15.0	2ヶ月ぶりの増加
中国	17.1	2ヶ月ぶりの増加
E U	▲9.8	3ヶ月連続の減少
アメリカ	19.0	2ヶ月ぶりの増加

○関西国際空港 国際線外国人旅客数【前年同月比で2ヶ月ぶりの増加】



(資料)関西エアポート(株)

	30年8月	9月	10月
万人	130.9	P 56.6	P 128.9
前年比(%)	2.9	P ▲48.8	P 0.6

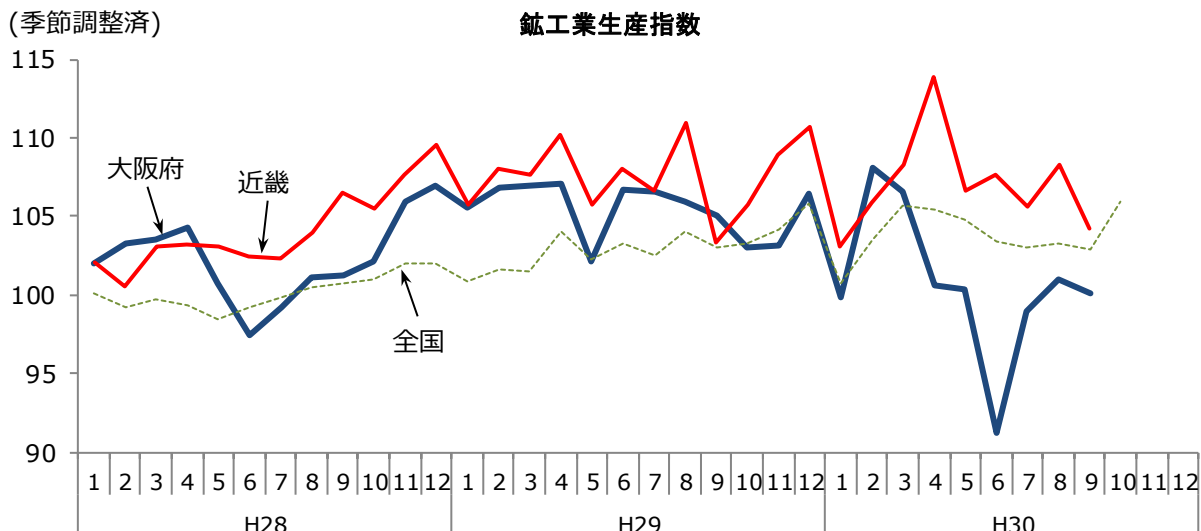


## [供給] 生産・企業活動

**生産動向は、弱い動きが続く**：大阪府（9月）では、生産、出荷はともに低下。近畿の生産（9月）も低下、全国の前月（10月）は上昇。企業倒産では、件数が9ヶ月連続の改善。

○**鉱工業生産指数【大阪府(9月)は3ヶ月ぶりの低下。「電子部品・デバイス」、「はん用・生産用・業務用機械工業」などが低下。近畿(9月、鉱工業)は2ヶ月ぶりの低下。全国(10月、鉱工業)は2ヶ月ぶりの上昇】**

(季節調整済)



(資料) 大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」

※大阪府は製造工業指数で、H22=100。全国は H27=100。

### 鉱工業生産指数

季調済	30年8月	9月	10月
大阪府	101.0	P 100.1	
近 畿	108.3	104.2	
全 国	103.3	102.9	P 105.9

### 鉱工業出荷指数

季調済	30年8月	9月	10月
大阪府	97.4	P 95.5	
近 畿	106.8	99.3	
全 国	103.2	101.1	P 106.6

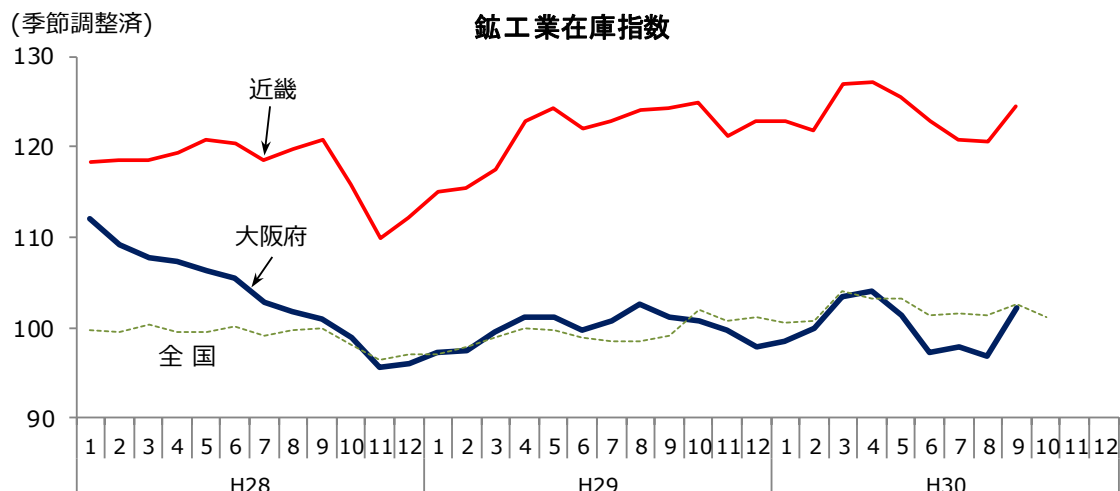
### 生産指数における産業別の主な変動

(大阪府、前月比(%)、寄与度順、9月速報)

上 昇	<b>化学(12.9)</b> : 医薬品、合成アセトン
	<b>金属製品(30.1)</b> : 橋りょう、作業工具
	<b>石油・石炭製品(7.8)</b> : ジェット燃料油、精製・混合原油
低 下	<b>電子部品・デバイス(▲30.0)</b> : 液晶素子
	<b>はん用・生産用・業務用機械(▲11.4)</b> : はん用内燃機関、超硬工具
	<b>鉄鋼(▲12.0)</b> : 亜鉛めっき鋼板、H形鋼

## [供給] 生産・企業活動

○**鉱工業在庫指数【大阪府(9月)は2ヶ月ぶりの上昇。「はん用・生産用・業務用機械」、「化学」などが上昇。近畿(9月)は5ヶ月ぶりの上昇。全国(10月)は2ヶ月ぶりの低下】**



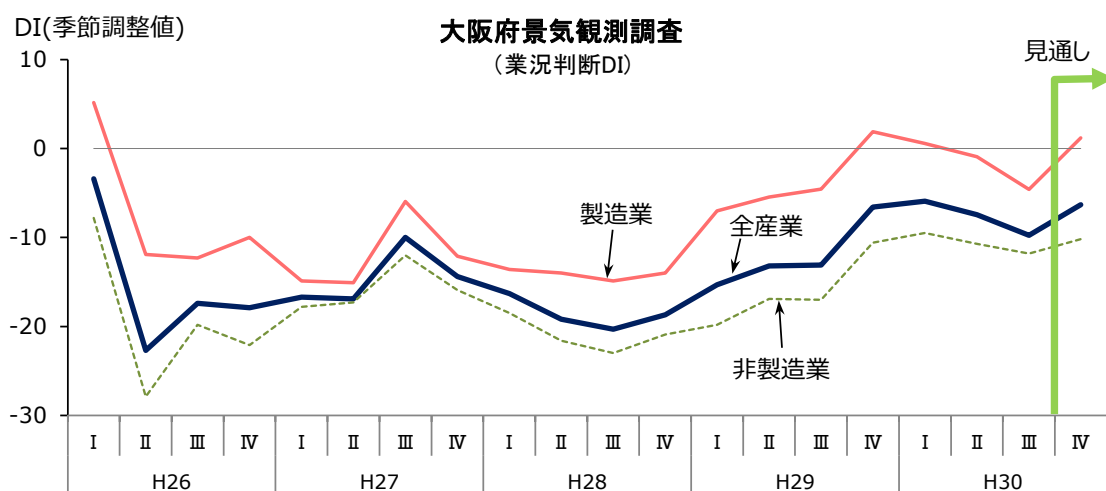
(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」  
 ※大阪府は製造工業指数で、H22=100。全国はH27=100。

在庫指数における産業別の主な変動  
 (大阪府、前月比(%)、寄与度順、9月速報)

季調済	30年8月	9月	10月
大阪府	96.8	P 102.2	
近 畿	120.6	124.4	
全 国	101.4	102.6	P 101.2

上昇	<b>はん用・生産用・業務用機械(22.8)</b> : ショベル系掘削機械、はん用内燃機関
	<b>化学(7.2)</b> : 塩化ビニル樹脂、ビスフェノール A
低下	<b>プラスチック製品(▲4.6)</b> : プラスチック製パイプ、プラスチック製日用品・雑貨
	<b>輸送機械(▲14.0)</b> : 輸送機械用エアコン(乗用車を除く)

○**企業の業況判断【7~9月期(全産業)は2期連続の悪化】**

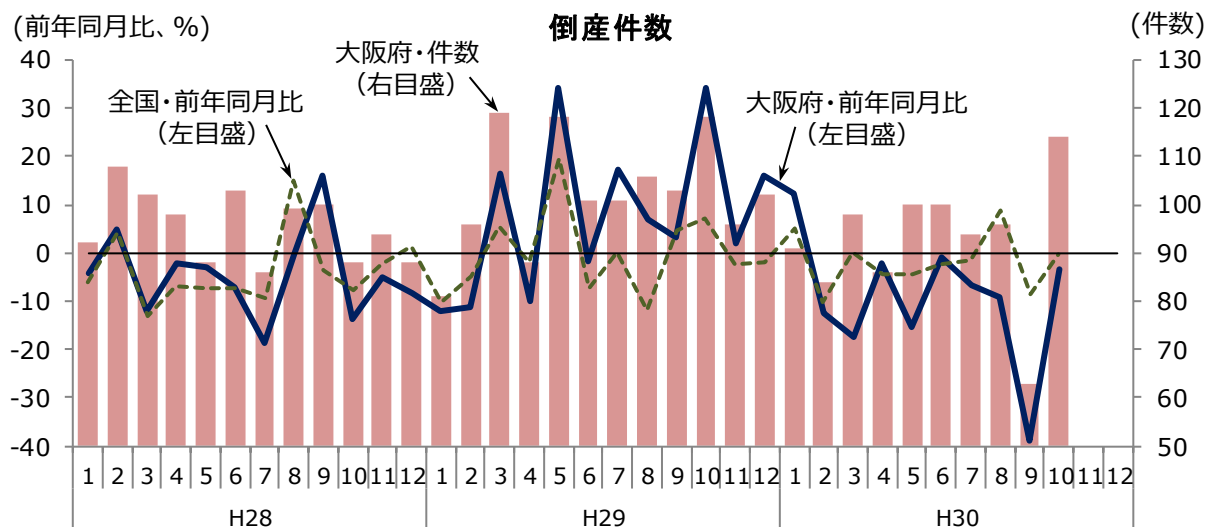


(資料)大阪産業経済リサーチセンター「大阪府景気観測調査」

季調済	30年1~3月	4~6月	7~9月	10~12月 (見込み)
製造業	0.6	▲0.9	▲4.6	1.2
非製造業	▲9.5	▲10.7	▲11.8	▲10.2
全産業	▲5.9	▲7.4	▲9.8	▲6.3

## [供給] 生産・企業活動

○企業倒産【倒産件数は前年同月比で9ヶ月連続の減少(改善)、負債金額は前年同月比で4ヶ月連続の減少(改善)】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		30年8月	9月	10月
件	大阪府	96	63	114
前年比 (%)	大阪府	▲9.4	▲38.8	▲3.3
	全国	8.6	▲8.5	▲0.4

負債金額

		30年8月	9月	10月
億 円	大阪府	67	37	106
前年比 (%)	大阪府	▲38.9	▲49.8	▲29.8
	全国	31.2	59.0	22.6

主要業種の倒産件数(大阪府)

	30年8月	9月	10月
建設業	11	14	16
製造業	16	4	11
卸売業	15	10	19
小売業	16	10	17
サービス業他	30	16	39

主な倒産(大阪府、30年10月)

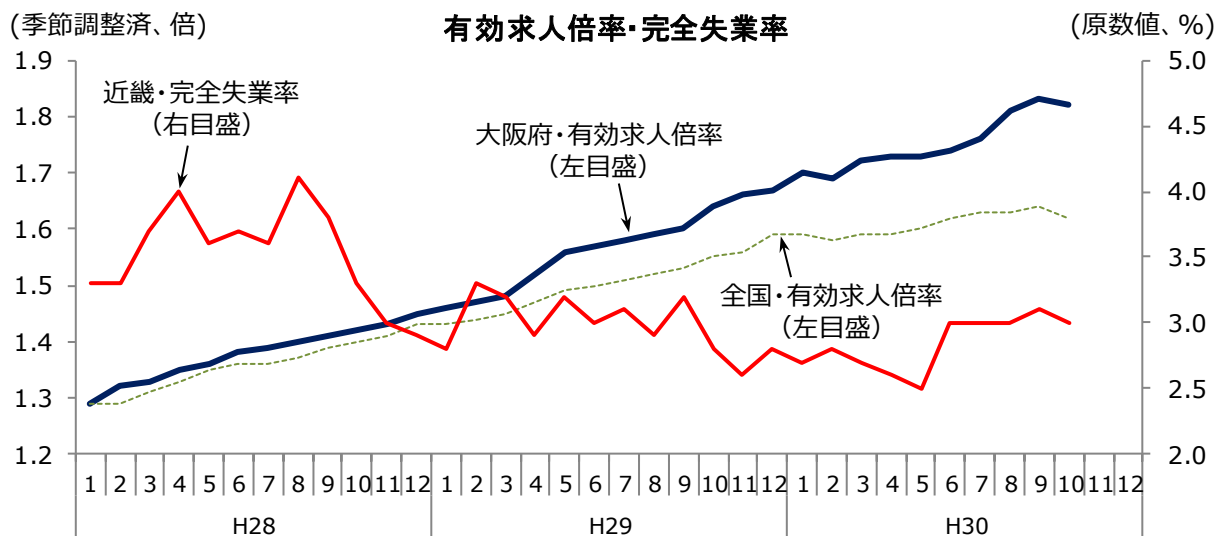
業 種	負債額 (百万円)	倒産原因
写真シール機製造、 携帯コンテンツ事業	2,096	販売不振
ガソリンスタンド経営、 中古車販売ほか	1,209	過小資本
電気通信・電気工事、 通信機器保守管理	834	放漫経営
建築工事	440	信用性低下
一般貨物自動車運送業	400	販売不振
リサイクルショップ経営	371	既往のシワ寄せ

## [供給] 雇用

**雇用は、改善している**：近畿の失業率は悪化。有効求人倍率、新規求人倍率はともに低下。所定外労働時間（9月）は減少。

### ○完全失業率【近畿は2ヶ月ぶりの上昇(悪化)】

有効求人倍率【大阪は低下】、新規求人倍率【大阪は低下】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	30年8月	9月	10月
%	3.0	3.1	3.0
前年同月差	0.1	▲0.1	0.2

完全失業率(全国、季節調整値)

	30年8月	9月	10月
%	2.4	2.3	2.4
前月差	▲0.1	▲0.1	0.1

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

	30年1~3月	4~6月	7~9月
大阪府	3.1	2.8	3.4
近 畿	2.7	2.7	3.0
全 国	2.5	2.5	2.5

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	30年8月	9月	10月
大阪府	1.81	1.83	1.82
全 国	1.63	1.64	1.62

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	30年8月	9月	10月
大阪府	2.87	2.95	2.91
全 国	2.34	2.50	2.40

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」 ※パートを含む。

新規求人数の主要産業別の増減

(大阪府、前年同月比(%))

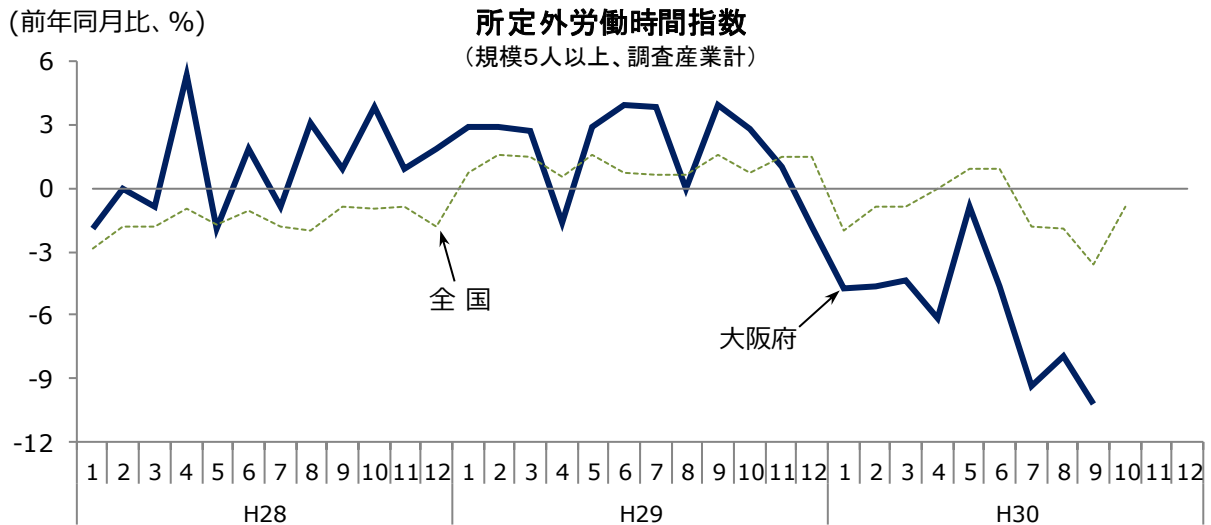
	30年8月	9月	10月
産業計	10.6	▲6.4	12.6
建設業	4.9	▲2.1	27.2
製造業	12.4	▲6.5	23.8
卸売業、小売業	25.6	▲5.9	0.3
宿泊業、飲食サービス業	4.7	▲13.6	7.5
医療、福祉	4.3	▲7.5	4.0

(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

※新規求人数の増減は原数値での比較

## [供給] 雇用

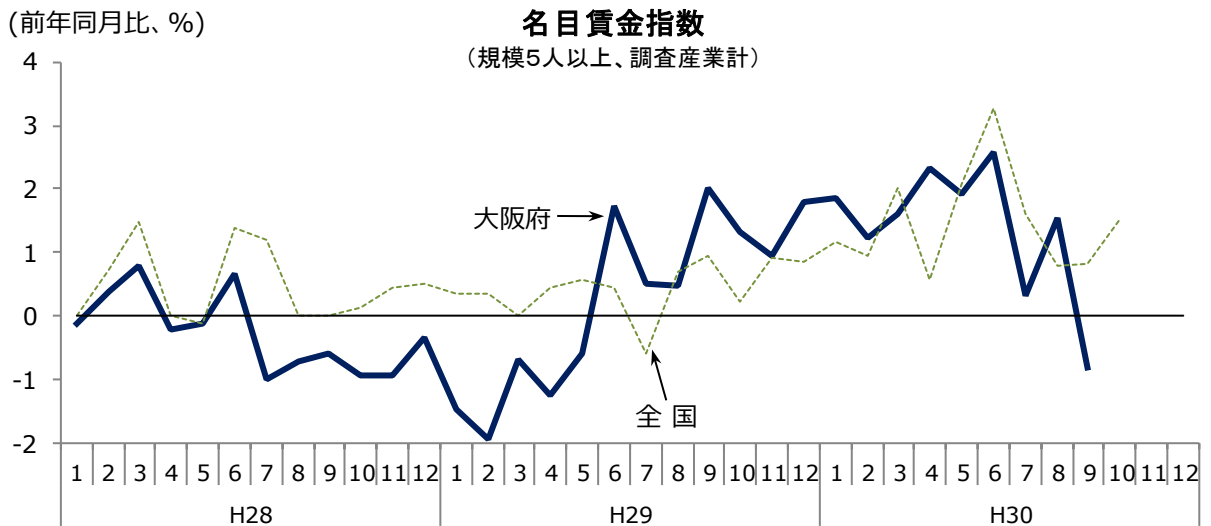
### ○所定外労働時間指数【大阪府(9月)は10ヶ月連続の減少】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」  
※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(H27=100)による。

		30年8月	9月	10月
指数	大阪府	88.6	92.4	
前年比 (%)	大阪府	▲7.9	▲10.2	
	全国	▲1.9	▲3.6	P ▲0.9

### ○名目賃金指数【大阪府(9月)は16ヶ月ぶりの減少】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」  
※事業所規模5人以上、前年同月比は名目賃金指数(H27=100)による。

		30年8月	9月	10月
現金給与総額(円)	大阪府	283,475	283,997	
前年比 (%)	大阪府	1.6	▲0.8	
	全国	0.8	0.8	P 1.5

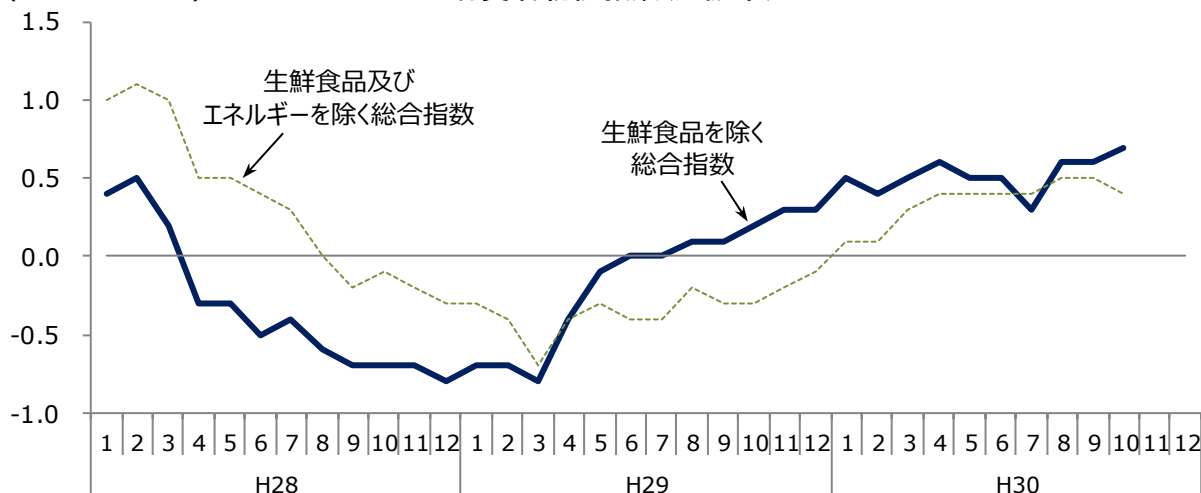
※前年比は名目賃金指数(H27=100)による。

## [その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は15ヶ月連続の上昇。「食料」、「教養娯楽」などが上昇に寄与。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は、前年比が10ヶ月連続の上昇】

(前年同月比、%)

消費者物価指数(大阪市)



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」  
※H27=100。

総合指数

		30年8月	9月	10月
指数	大阪市	100.5	100.8	P 101.1
前年比 (%)	大阪市	0.8	0.9	P 1.1
	全国	1.3	1.2	1.4

生鮮食品を除く総合指数

		30年8月	9月	10月
指数	大阪市	100.1	100.1	P 100.4
前年比 (%)	大阪市	0.6	0.6	P 0.7
	全国	0.9	1.0	1.0

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数

		30年8月	9月	10月
指数	大阪市	100.5	100.4	P 100.6
前年比 (%)	大阪市	0.5	0.5	P 0.4
	全国	0.4	0.4	0.4

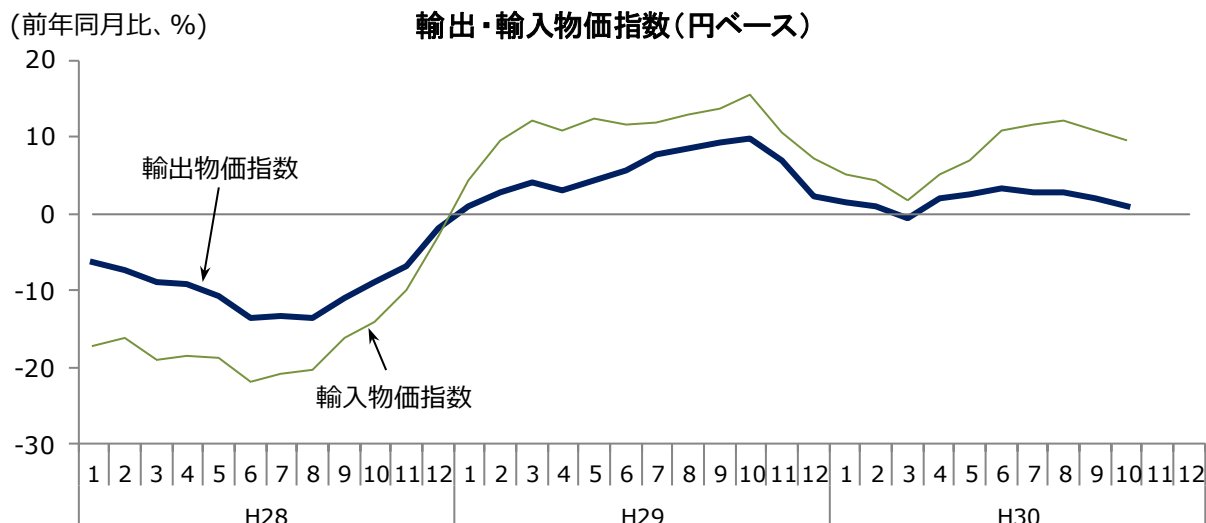
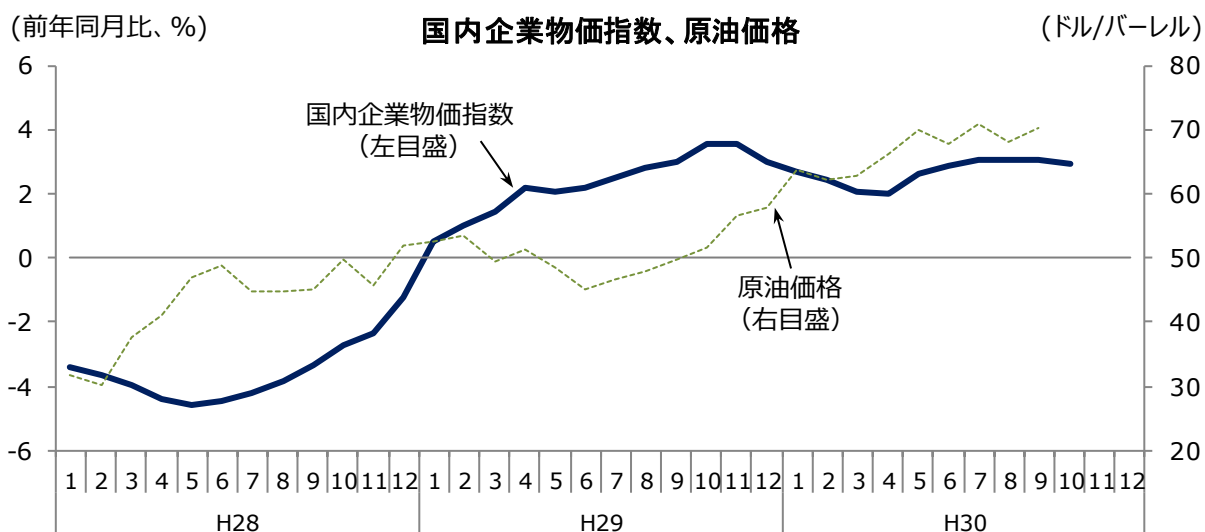
総合指数において主に変動した分類

(大阪市、前年同月比(%), 寄与度順、30年10月速報)

上昇	<b>食料(2.9)</b> : 野菜・海藻(レタス、なす、ねぎ)、果物(りんご A、柿、ぶどう B)
	<b>教養娯楽(1.5)</b> : 教養娯楽用品(ゴルフクラブ、トレーニングパンツ、切り花[菊])、教養娯楽サービス(外国パック旅行費、ウェブコンテンツ利用料)
	<b>諸雑費(1.1)</b> : たばこ(たばこ[国産品]、たばこ[輸入品])、他の諸雑費(介護料、傷害保険料)
低下	<b>住居(▲0.6)</b> : 特になし
	<b>被服及び履物(▲0.8)</b> : シャツ・セーター類(婦人用セーター[長袖]、ワイシャツ[長袖])、履物類(男子靴、婦人靴)
	<b>家具・家事用品(▲0.6)</b> : 室内装備品(照明器具、カーペット、室内時計)、家庭用耐久財(電気掃除機、温風ヒーター、電気洗濯機[洗濯乾燥機])

## [その他] 物価

### ○企業物価指数【国内企業物価指数は上昇が続く】



(資料) 日本銀行「企業物価指数」、OPEC「Monthly Oil Market Report」  
 ※輸出・輸入物価指数は円ベース。物価指数は H27=100。

#### 企業物価指数

	30年8月	9月	10月
国内企業物価指数	101.7	102.0	P 102.3
輸出物価指数	97.0	97.5	P 98.1
輸入物価指数	101.1	101.7	P 103.3

※輸出物価指数、輸入物価指数は円ベース。H27=100.

#### 原油価格 (WT I)

	30年8月	9月	10月
ドル/バーレル	67.99	70.20	—

#### 国内企業物価指数の前月比変化に寄与した 主な類別・品目 (30年10月速報、寄与度 (%))

**石油・石炭製品(0.35)** : ガソリン、軽油、C重油  
**電気機器(0.04)** : 監視制御装置、電気冷蔵庫、開閉器

**電力・都市ガス・水道(▲0.18)** : 業務用高圧電力、  
 産業用特別高圧電力、産業用高圧電力  
**農林水産物(▲0.04)** : 豚肉、いくら、牛肉